

教務旬報

教務通信 第3号 令和6年5月14日

登校日数

24/196

そうごうてき たんきゅう じかん はじ 総合的な探究の時間が始まります



今年の総合的な探究の時間が、6月から始まります。

総合的な探究の時間とは、「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成すること」を目指します。

本校では、時間割に位置づけず、各4日ずつ集中授業(各4単位時間)を8回行い、年間32単位時間の学習を設定しています。先生方と一緒に学習テーマを深めて、生徒が自ら設定した課題を解決していく学びを展開します。日頃の授業とは異なり、さまざまな人の考えに触れたり、実社会の問題を様々な角度から考えたり、学習の新たな楽しみを感じる場となります。解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだしていく探究の時間は、今まで自分自身でも気付かなかった能力を発揮する場になるかもしれません。担当の先生の指示をよく聞き、ルールやマナーを守って、安全で有意義な学習活動になるようにしましょう。

さて、「総合的な探究の時間」は「**必修**」の学習です。単位の認定に、各教科・科目と同様に「**履修**」の認定が必要になります。1日休むと、4単位時間の欠課となります。休まずに済むように、体調管理もしっかりしておきましょう。

◎本校定時制において定める目標

1. 講座ごとのテーマを十分に理解し、自ら課題を見つけ、主体的に課題解決に向けて取り組むことができるようにする。
2. 課題解決のために、主体的・創造的な態度で臨み、人間としての在り方、生き方を探究することができるようにする。

◎目標を実現するにふさわしい探究課題



新入年次(プロジェクト KAJO I)

「地域や学校の特色に応じた課題」
自己理解から始める探究スキル
ブレ探究

在学年次(プロジェクト KAJO II)

「地域や学校の特色に応じた課題」(外部との連携)
「生徒の興味・関心に基づく課題」
自分の興味や自分の暮らす地域を考えることから探究する

卒業年次(プロジェクト みらい)

「職業や自己の進路に関する課題」(外部との連携)
「横断的・総合的な課題」
自分の将来や社会の未来を考えることから探究する



はじめに

教材「これからはじめる探究学習(第一学習社)」

■「探究的な学習」とは

「探究的な学習」とは、図1のように、問題解決的な活動が発展的にくり返されていく学習活動を指します。

- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識を持つ。
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする。
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- ④【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、問題の解決に向けた判断をし、表現する。

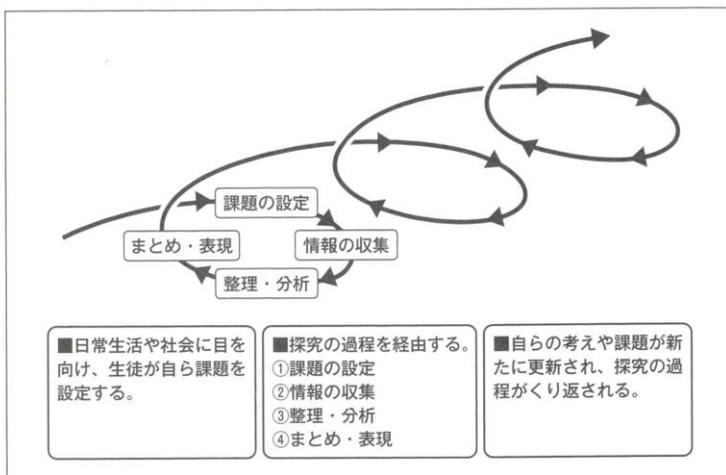


図1 探究における生徒の学習の姿

※文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」をもとに作成

これからの時代を生きていく皆さんには、自分で課題を発見し、解決していく力が求められます。そして、そのような力を身につけるためには、自ら課題を設定し、試行錯誤しながら答えを模索する「探究的な学習」をくり返すことが、非常に重要になってきます。本教材で、これまで皆さんが経験してきた調べ学習とは異なる、「探究的な学習」に必要となる力を身につけていきましょう。

探究は調べ学習ではありません

Memo 探究に向け 自分の関心があること つきつめてみたいこと
と書いてみよう



<保護者の方へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。

バックナンバーなどもご覧いただけます。

アクセスは以下のアドレスまたはQRコードへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霧城学園高校」で検索をお願いします。

